

中学歴史プリント（書き取り）

安土桃山時代

名前

得点

/20

- 問1 狩野永徳らが障壁画で多用した、豪華さを演出するために貼り付けられた金色の薄い金属を何という？
- 問2 宗教改革後、キリスト教を広めるために日本へ派遣されたイエズス会の宣教師は誰？
- 問3 マゼランの航海によってその形であることが実証された、地球の形状を何という？
- 問4 安土桃山時代から江戸時代にかけて、日本とポルトガルやスペインなどとの間で行われていた貿易を何という？
- 問5 兵農分離の政策において、武士とは別に農業に専念させられた人々を何という？
- 問6 インドへの航路開拓を目指し、アフリカ大陸南端の地を拠点とした国はどこ？
- 問7 織田信長や豊臣秀吉の時代に活発に行われた、ポルトガルやスペインなどとの外国貿易を何という？
- 問8 マゼランの船隊が南アメリカ大陸の南端を回って横断した、地球の大部分を占める広大な海を何という？
- 問9 15～16世紀にヨーロッパ諸国がアジアへ向かう新しい航路を開拓する目的の一つであった、高値で取引されていた産品を何という？
- 問10 喜望峯経由の航路が開拓されたことで、ヨーロッパと直接貿易ができるようになった地域はどこ？
- 問11 織田信長によって擁立された、室町幕府の最後の将軍を何という？
- 問12 16世紀のヨーロッパで、カトリック教会の腐敗を批判し、聖書中心の信仰を説いた人物は誰？
- 問13 天正遣欧使節をローマ教皇のもとへ派遣した、キリスト教を保護した大名を総称して何という？
- 問14 15世紀後半から17世紀にかけて、ヨーロッパ人がアジアへの新しい航路を求めて探検し、世界の地理的認識が広がった時代を何という？
- 問15 安土桃山時代において、支配者の富と権力を内外に示すために豪華な装飾が施された建築物を何という？
- 問16 15世紀から16世紀にかけて、ヨーロッパの人々が未知の海域や大陸を目指して海外へ進出した時代を何という？
- 問17 織田信長が楽市・楽座などの政策を実施し、天下統一の拠点として建設した地名を何という？
- 問18 日本にキリスト教を広めるために来日した宣教師が所属していた組織を何という？
- 問19 桃山文化を代表する画家で、城郭の障壁画などに金箔を多用し、華やかで力強い作品を残した人物は誰？
- 問20 ルネサンスの文化運動によって発展し、大航海時代の到来を技術面から支えたものを何という？